

# 2019年度 第3四半期 決算補足資料

2020年2月10日

# 2019年度 第3四半期決算のポイント

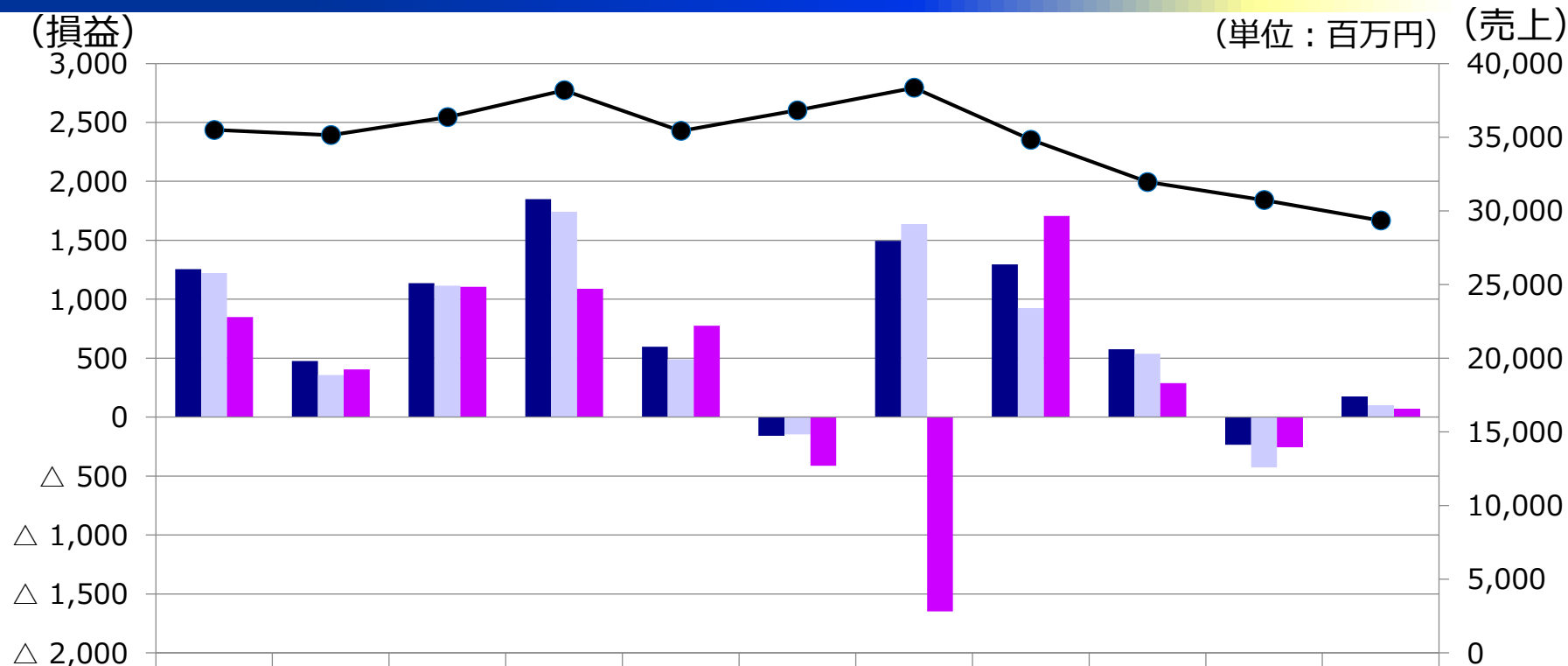
(単位：百万円)

	2018年度 第3四半期 (利益率)		2019年度 第3四半期 (利益率)		前期比増減	
	売上高	利益率	売上高	利益率	増減額	増減率
売上高	110,601	—	92,019	—	△18,581	△16.8%
営業利益	1,932	(1.7%)	512	(0.6%)	△1,420	△73.5%
経常利益	1,981	(1.8%)	209	(0.2%)	△1,771	△89.4%
当期純利益	△1,285	—	106	(0.1%)	1,392	—
EPS (円)	△49.63		4.17			

## 《全体感》

- 売上：国内外の自動車販売が大きく減少、アルミ地金市況の下落等もあり減収
- 営業利益：自動車販売量の減少影響を受けて減益
- 経常利益：営業利益減、及び為替影響等により減益
- 当期純利益：前年度は米国工場の減損損失を約30億円を計上
- EPS：当期純利益は増加して、EPSは4.17円/株

# 連結決算概要（四半期推移）



	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q	18年度 1Q	18年度 ※ 2Q	18年度 ※ 3Q	18年度 4Q	19年度 1Q	19年度 2Q	19年度 3Q
■ 営業損益	1,255	477	1,136	1,850	596	△ 158	1,494	1,296	576	△ 235	171
■ 経常損益	1,222	356	1,115	1,743	490	△ 147	1,638	924	537	△ 427	99
■ 当期純損益	850	405	1,105	1,090	776	△ 413	△ 1,648	1,706	289	△ 256	73
● 売上高	35,494	35,136	36,359	38,178	35,429	36,821	38,351	34,827	31,953	30,727	29,339

※ 18年度2Qは一時的な減価償却増（645）、3Qは米国工場の減損（3,015）計上

# ダイカスト事業

(単位：百万円)

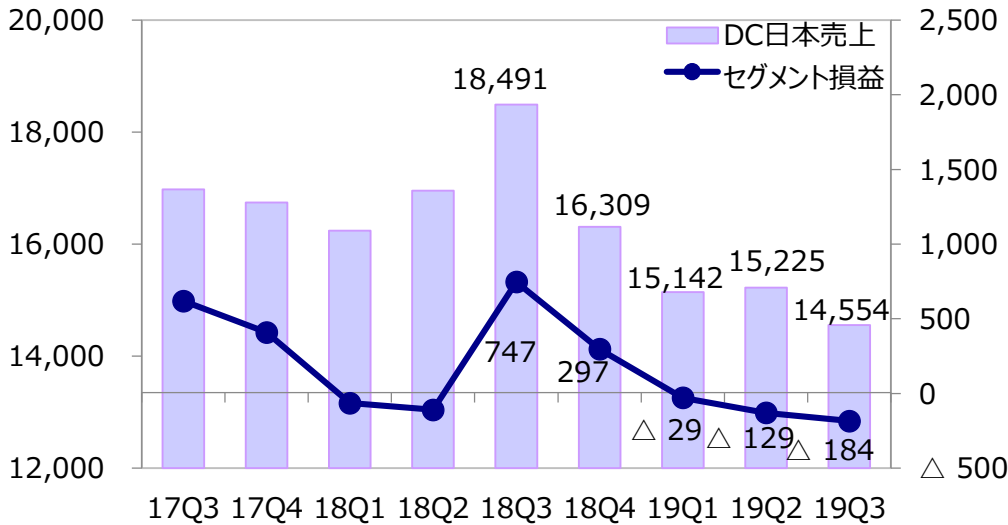
		2018年度 第3四半期 (利益率)		2019年度 第3四半期 (利益率)		前期比増減	
日本	売上高	51,689	—	44,921	—	△6,768	△13.1%
	セグメント損益	574	(1.1%)	△342	—	△916	—
北米	売上高	30,170	—	23,998	—	△6,171	△20.5%
	セグメント損益	△283	—	536	(2.2%)	819	—
アジア	売上高	22,899	—	18,051	—	△4,847	△21.2%
	セグメント損益	1,382	(6.0%)	△98	—	△1,480	—

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率  
2018年度3Q : 50.6% ⇒ 2019年度3Q : 48.3%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

# ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



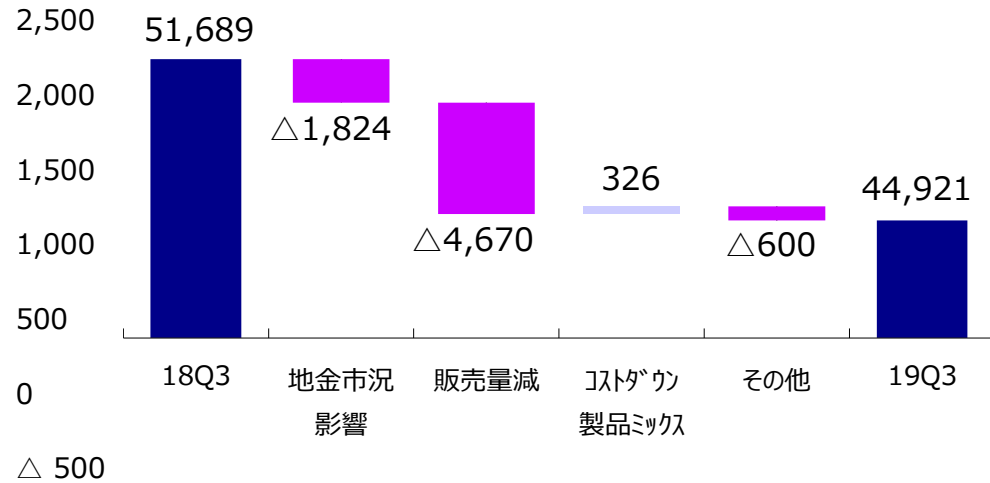
## 売上：67.6億円減（前期比13.1%減）

- 主要顧客の北米・アジアでの自動車販売低迷が続いており、その影響を受けて国内販売量も減少
- アルミ地金市況の下落影響等もあり減収

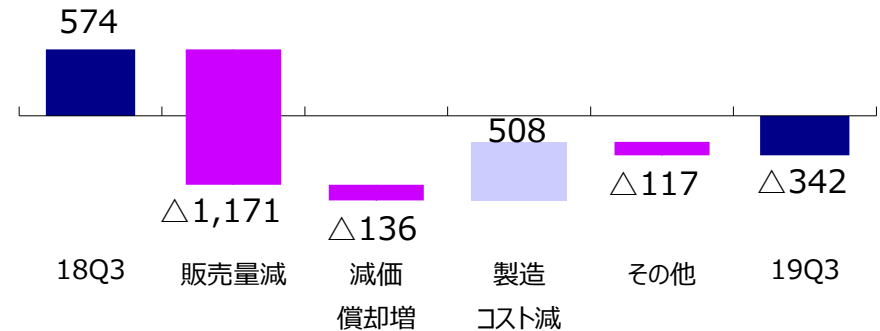
## セグメント損益：9.1億円減（前期比減）

- 製造コストの削減を進めるも、販売量減少による損失を上回るまでには至らず減益

売上高増減要因（単位：百万円）

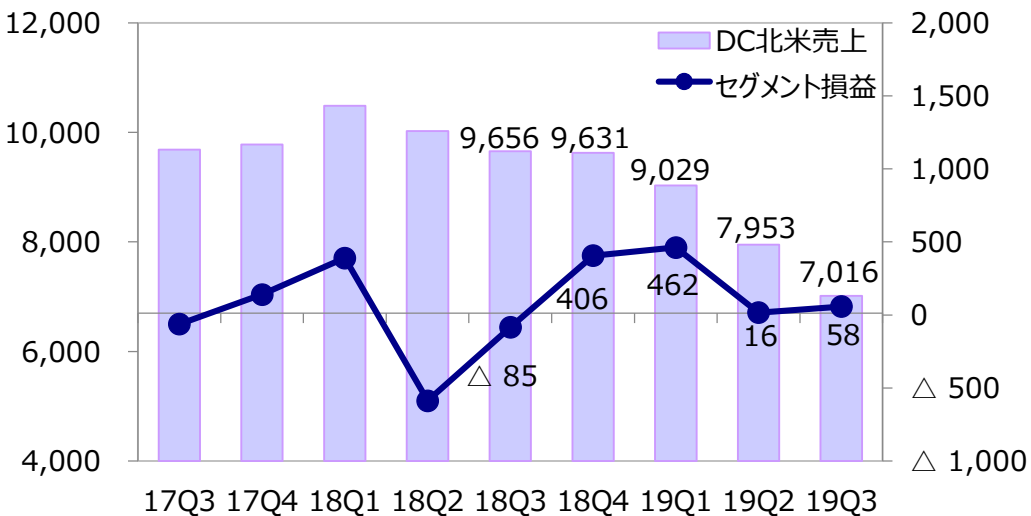


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



# ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



## 売上：61.7億円減（前期比20.5%減）

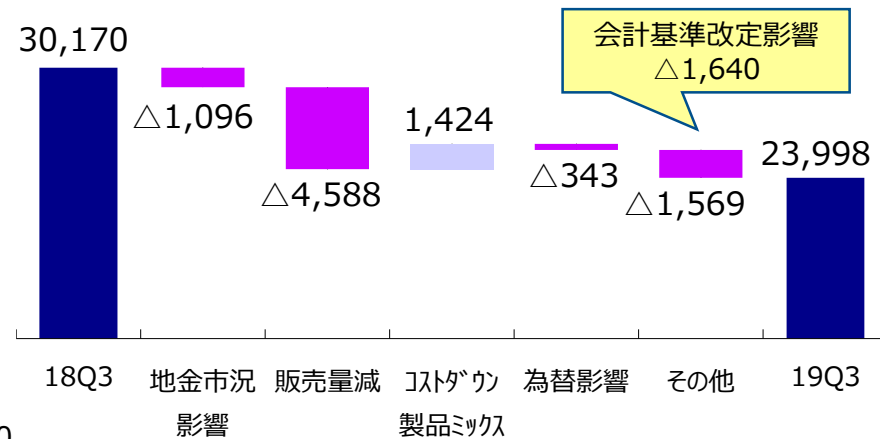
- 主要顧客を含む自動車メーカーの生産量が前年割れとなる中、一部顧客の生産調整等の影響もあり減収
- 米国の会計基準改定の影響により16億減

## セグメント損益：8.1億円増（前期比増）

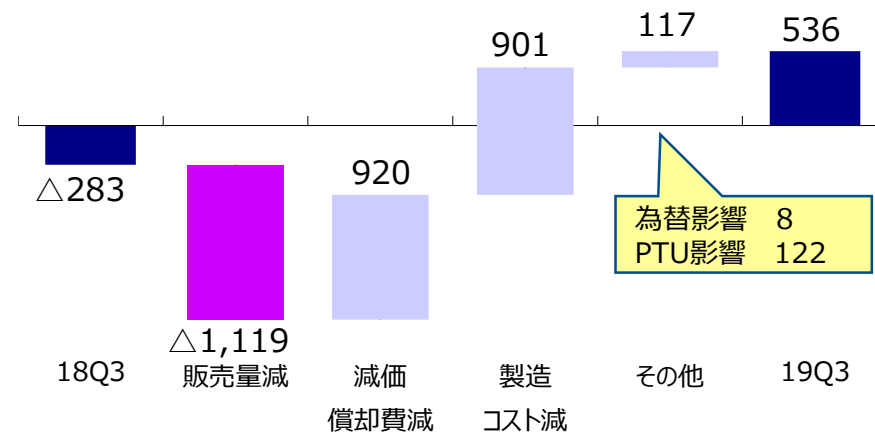
- 販売減が続く中、生産性の改善と減価償却費の負担軽減（前年度の減損及び一時的な償却費増の影響）等により増益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期  
 レート（18Q3⇒19Q3）アメリカ 110.82⇒108.43 メキシコ 109.98⇒109.41

売上高増減要因（単位：百万円）

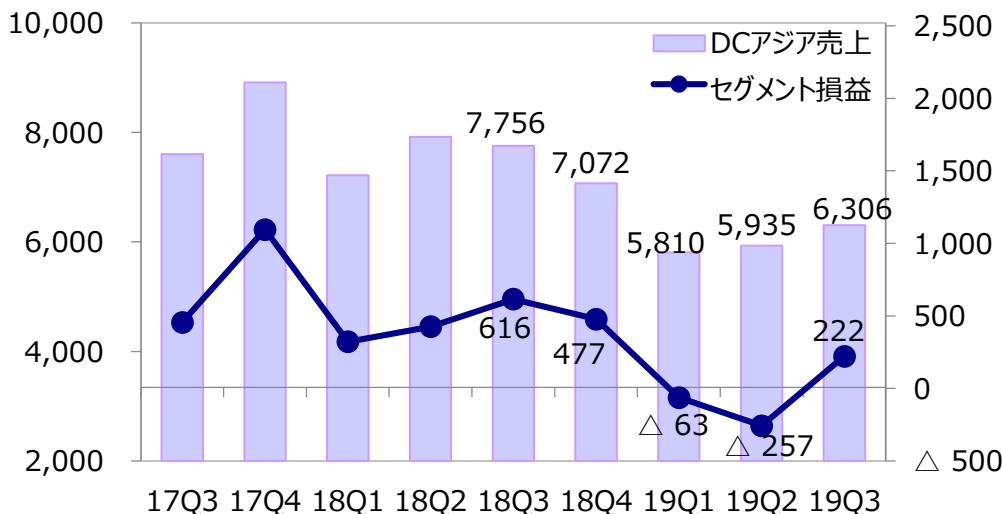


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



# ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高/セグメント損益の推移 (単位: 百万円)



売上: 48.4億円減 (前期比21.2%減)

- 中国ローカルメーカーの減速による販売量の落ち込みが続いており、為替等の影響も受けて減収
- インドは自動車制度の変更の影響等により販売量減

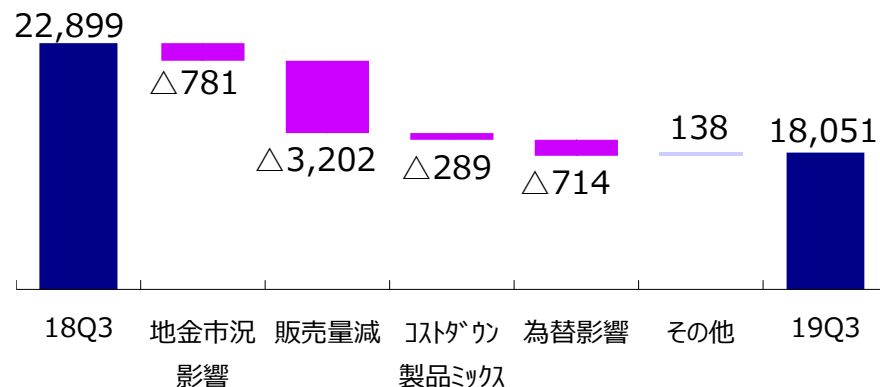
セグメント損益: 14.8億円減 (前期比減)

- 中国における売上高減少の影響が大きく減益

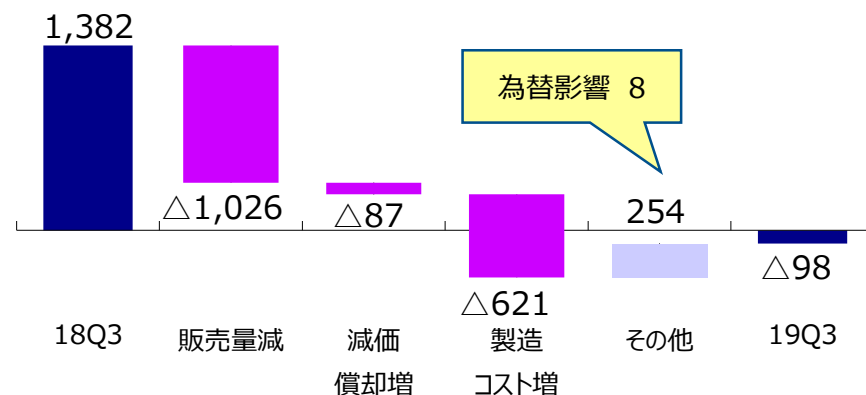
決算期: 中国12月期、インド3月期

レート (18Q3⇒19Q3) 人民元 16.83⇒15.94 インドルピー 1.60⇒1.54

売上高増減要因 (単位: 百万円)



セグメント損益増減要因 (単位: 百万円)



# アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2018年度 第3四半期 (利益率)		2019年度 第3四半期 (利益率)		前期比増減	
アルミニウム 事業	売上高	3,458	—	3,081	—	△377	△10.9%
	セグメント損益	72	(2.1%)	135	(4.4%)	63	87.2%
完成品事業	売上高	2,383	—	1,966	—	△416	△17.5%
	セグメント損益	232	(9.8%)	172	(8.7%)	△59	△25.8%

## アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況の変動等により販売単価が下がり減収
- ▶ セグメント損益：アルミ相場下落で原材料価格が下がり増益

## 完成品事業

- ▶ 売上：2Qまでは増収も、前期3Qに大型物件の受注があり減収
- ▶ セグメント損益：受注減の影響等により減益





# Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

**【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】**  
**株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664**  
**E-mail: [ahresty\\_MP0\\_IR@ahresty.com](mailto:ahresty_MP0_IR@ahresty.com)**  
**URL: <https://www.ahresty.co.jp>**

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。